香北の未来

～国際バカロレアで切り拓く～

2020.01.10　NO. 1
香北中学校　研究推進部会

研究部だより「香北の未来～国際バカロレアで切り拓く～」は、本校が今年度より取り組みを始めた、国際バカロレア教育について生徒や保護者の皆様に発信し、本校の教育活動についてご理解をいただくという趣旨で発行していきます。 なるべく難しい言葉は使わず、生徒も理解ができるように心がけて作成してまいります。「よくわからん」と途中で投げず読んでいただければと思います。

国際バカロレア教育とは？

国際バカロレア機構（本部ジュネーブ）が提供する国際的な教育プログラムのことです。

IB は、1968 年、チャレンジに満ちた総合的な教育プログラムとして、日々変わりゆく世界やこれまで予想もできなかった出来事が起こっていくだろう世界へ突き進んでいける生徒を育成し、生徒に対して未来へ責任ある行動をとるための態度と技能を身に付けさせることを目的として設置されました。

IB 教育には PYP（小学校）・MYP（中学校）・DP（高等学校）・IBCP（職業訓練校）の 4 つのカテゴリーがあります。本校は MYP の導入を目指しています。

現在日本には 18 校の MYP 認定校があり、そのうち学校教育法第一条に定められた学校（いわゆる皆さんが想像する「普通の学校」）は 8 校あります。**たったの8校**しかありません。

なぜ香北で国際バカロレア？

ご存知のとおり、現在本校より一歩先に大宮小学校が PYP の認定校になるべく研究を進めています。すでに候補校となり、スムーズにいけば来年度末に認定されることとなっています。IB 教育を取り入れようとする動きは、中学校だけでなく香北地区全体で行われています。

生徒：香北全体でバカロレアに向かおうとする姿勢はわかりました。でも、なぜ「香北でバカロレア」なんですか？
既読 16：46

松尾：いま日本の教育は大きく変わろうとしています。先生から知識を与えられる授業ではなく、皆さんが自分で知りたいことを見つけ、深掘りし、自分の言葉で物事を解釈していくことが求められるようになってきました。
既読 16：50

松尾：これらの教育の最先端を行くのが「国際バカロレア」です。どこの学校、どこの地域よりも最先端を走って、この香北町からモデルを発信していきたいと考えています。
既読 16：51

生徒：なかなか熱い思いがあるんですね。壮大なプロジェクトなんだろうけど、正直に言うと、僕は自分にメリットがないとやる気が出ません。
既読 16：53

松尾：正直でよろしい！では次回は、IB をするにあたって、生徒にとってのメリットを中心にお知らせします。
16：58